

# 令和元年度 豊中市総合計画審議会

## 第1回会議 議事要旨

日時 令和元年(2019年)9月13日(金)18時～20時

場所 第二庁舎3階大会議室

出席者 加藤会長、大野委員、宗前委員、濱元委員、久委員、水上委員、壬生委員、宮前委員、  
山田委員、吉原委員

計10名

欠席者 中塚委員

計1名

事務局 都市経営部経営計画課：榎本、寺田、坂本、田中、島、上田

- 案件
1. 今年度のスケジュール及び部会について
  2. 第4次豊中市総合計画前期基本計画の行政評価制度について
  3. 2019年度(208年度実施分)政策評価結果について
  4. その他

資料 資料1 豊中市総合計画審議会に係る規則等について

資料2 豊中市総合計画審議会 委員名簿

資料3 今年度のスケジュールについて

資料4 第4次豊中市総合計画前期基本計画 行政評価指針

資料5 第4次豊中市総合計画前期基本計画 行政評価指針(素案)に対する修正について

資料6 2019年度(2018年度実施分)政策評価結果

参考1 第4次豊中市総合計画(本編)

参考2 第4次豊中市総合計画(概要版)

参考3 第4次豊中市総合計画前期基本計画行政評価指針(素案)について(答申)

参考4 行政評価に対する意見集

会議録 下記のとおり

### 1. 開 会

(開会)

事務局：

- ・ (成立要件の確認)

事務局：

(配布資料確認)

## 2. 案件1「今年度のスケジュール及び部会について」

会長：

- ・ 「今年度のスケジュール及び部会について」を事務局からお願いします。

事務局：

- ・ （資料3に基づき今年度のスケジュールを説明）
- ・ （資料1, 2に基づき部会について説明）

会長：

- ・ 部会のメンバーについては、事前に事務局と一緒に決めさせていただきました。部会長については、第一部会が久委員、第二部会は私が行いたいと考えております。
- ・ この案でよろしいでしょうか。委員の皆様にお諮りしたいと思います。

委員：

（異議なし）

会長：

- ・ 他に意見がなければ、案件2の説明を事務局からお願いします。

事務局：

- ・ 昨年度、第4次豊中市総合計画前期基本計画行政評価制度について総合計画審議会から答申書をいただきました。その後、庁内会議を経て、行政評価指針は完成しましたので、昨年度の諮問からの変更点をご説明します。
- ・ （資料4, 5に基づき、変更点を説明）

会長：

- ・ 昨年度審議した内容を反映させて、行政評価指針を策定されたように感じます。
- ・ 他に意見がなければ、案件3の説明を事務局からお願いします。

事務局：

- ・ 昨年度、行政評価指針と一緒に、政策評価シートと施策指標についても、審議会でご議論いただき、意見集としてご意見をいただきました。意見集をふまえて完成した政策評価シートの変更点をご説明します。
- ・ （資料6, 参考4に基づき、変更点を説明）
- ・ （リーディングプロジェクトである南部地域活性化プロジェクトについての現況を報告）

会長：

- ・ 行政評価指針と同様に、審議会の意見を取り入れて変更しているように思います。
- ・ 南部地域活性化プロジェクトについては、VR（バーチャルリアリティー）を用いて現況をご説明いただきました。

- ・ 何かご意見はありますか。

**委員：**

- ・ 南部地域の課題は何ですか。

**事務局：**

- ・ 資料1「豊中市総合計画(本編)」のP100をご覧ください。南部地域の人口は減少傾向が顕著となっており、少子高齢化も進んでいます。また教育環境では、児童・生徒数の減少に加えて、学習課題や生活課題を抱えている児童・生徒が見られます。住環境でも、狭隘な道路をはじめ、年数の経過した長屋家屋や文化住宅などが多く集積し、防災上の課題となっています。

**委員：**

- ・ VRはイメージがしやすく良かったように感じます。業者を通して作成しているのですか。

**事務局：**

- ・ 作成は業者に依頼しています。住民説明会等でも好評をいただき建設的な議論に役立っていると感じています。

**会長：**

- ・ このVRはどこまで作りこむ予定なのですか。

**事務局：**

- ・ 今年度まちづくりの基本計画を作成しています。これに基づいて更新する必要がある場合は適宜更新していきたいと考えています。

**委員：**

- ・ 小中一貫校をなぜ作るのですか。

**会長：**

- ・ なぜ南部地域で小中一貫校を作ろうと思ったのか、将来的にどうしようと考えているのか、といったご質問ですがいかがですか。

**事務局：**

- ・ 南部地域をモデル校として、今後の検討につなげていければと考えています。

**委員：**

- ・ 先ほど事務局から説明があった総合計画 P100 に記載されているような課題が南部地域にあることから、小中一貫校や学校の跡地の活用を通して、南部地域に魅力を作っていく、少子化や人口減少を止めるということが前提にあるのだらうと思います。

- ・ その上で 総合計画の P101 にある通り、南部地域に暮らしたい、訪れたいと思う人を増やすことが“みらいのとよなか”につながるまちづくりにつながる。南部だけではなく、市内全域の活性化につなげるための南部活性化であるということは押さえておく必要があると考えます。

**委員：**

- ・ 一般論として、少子化が進み生徒が減ると、運動会などの行事ができないなど、学校活動が制限されることがあります。また「中一ギャップ」といって、中学校の進学時に環境の変化からトラブルが起きるケースが多い。それを緩和するために全国的に小中一貫校、義務教育学校が増えてきているという背景はあると考えられます。

**委員：**

- ・ 住民説明会やワークショップの参加者の構成はどうなっているかが気になります。こういった場面に、女性や子育て世代に積極的に参加していただくことで、多様な意見を取り入れることができると思います。

**事務局：**

- ・ それぞれの説明会における、性別・年齢構成まですべて把握していません。しかし、住民への説明会は、校区ごとや自治会ごとなど、細かい単位で開催し丁寧に説明することとしており、今後も、さまざまな方に参加いただき、多様な意見を取り入れられるよう開催していきたいと思います。

**委員：**

- ・ 社会福祉協議会を対象にした説明会を行っていますか。

**事務局：**

- ・ 小学校区ごとに校区社協や公民分館などに回って説明しており、VR もご覧いただいています。
- ・ 社会福祉協議会からは、将来のやりたいことはわかりましたというご意見をいただく一方で、学校の統廃合で活動場所がなくなったときの今後の活動が問題ですとご意見をいただいております、代替場所の提案などを含めて説明・議論をしているところです。

**委員：**

- ・ 社会福祉協議会がどのように感じているかを知りたかったです。
- ・ 各種地域団体や社協など地域にかかわるさまざまな人たちの意見を聞くとともに、ジェンダーバランスや年齢層等も考慮して、多様な人々にかかわってもらう工夫をしていく必要があると思います。

**委員：**

- ・ 全体を通して、資料が多く説明がわかりにくいです。俯瞰的に見るために、今までの審議会の意見・提案の一覧を作ってみてはどうですか。
- ・ 政策評価ではソフト面を書いている部分が多いですが、南部地域の活性化には、ソフト面とハード面どちらも書く必要があると思います。

**委員：**

- ・ 今後、南部地域活性化プロジェクトを進めるにあたり進め方に課題があると考えています。
- ・ 現状、住んでいる人たちのコミュニティが変化していく中で「今までの自分たちのコミュニティが奪われる」と感じていてしまう人もいます。
- ・ 一方で、新しい人たち（特に子育て世帯）をどう呼び込むかを考える必要もあります。
- ・ このように2つのベクトルがあることを意識していく必要があると思います。新しい人たちには直感的な魅力と実現可能性が求められますが、2つのベクトルは必ずしも一致するとは限りません。今は住んでいる方に対する説明がメインになりますが、今後新しい人向けのことを考えていくフェーズで難しくなる局面もでてくると思います。
- ・ その意味では、今回の評価シートの成果の書き方はこれでいいと思いますが、今後の評価の難しさを感じています。

**会長：**

- ・ リーディングプロジェクトのシートが他のシートと同じでいいのか疑問に思います。
- ・ 政策評価とプロジェクト評価は同一のものでないことが多く、プロジェクトを評価する場合は、ゴールに向けての進捗評価とプロセス評価の2項目で評価することが多いです。
- ・ リーディングプロジェクトはハード、ソフト両面にわたる長期的なプロジェクトであるから、成果指標（アウトカム）だけではなく、施設等の工程管理的な視点で、すべきことができているかを把握する必要があると思います。その意味でも、ハード面の指標を書いてもいいと思いますし、市民意識調査だけでなく活動指標（アウトプット）の視点でも見ていく必要があると思います。要するに成果だけではなくプロセスの評価も検討されてみてはいかがでしょうか。
- ・ またこのようなプロジェクトはハード事業が目立ちますが、ハード整備は時間がかかるものです。並行してソフトをいかに充実していくか、できることからやっていく必要があると思います。政策評価でもソフト事業について意識的に盛り込むようにすべきだと思います。

**事務局：**

- ・ 指標については、分かりやすく南部地域活性化に直接関わるものを来年度に向けて検討していきたいと思います。

**委員：**

- ・ 2018年度実施分を評価する場合、現状では「影響度の大きい事業」の部分は様々な課の特にハード面での事業で成り立っており、評価対象となる部分が少ないように感じます。南部地域活性化プロジェクトとして独自の影響度があるソフト面の事業は来年度からつくられていくのでしょうか。
- ・ また、南部地域活性化プロジェクトに関わるソフト事業のとりまとめがあると審議会として実りある議論になるのではないかと感じます。
- ・ 細かい話になりますが、今後の方針の書き方も気になります。「SSWの活用を充実させる」とありますが、人の活用は表現としておかしいと思います。「SSWの配置を充実させる」といった書きの方がいいと思います。

**事務局：**

- ・ 来年度のソフト面での事業については担当課に確認します。
- ・ 現在ソフト面・ハード面ともに地元の理解を得ながら進めていますが、5年後・10年後がどのようなになっているかを聞かれます。そのような指標についても考える必要があると感じました。

**会長：**

- ・ どのように進めているのかというロードプロセスも重要だと思います。このような評価についても検討してみてください。

**委員：**

- ・ シートの内容に対して、審議会としてどこまでの意見を求められているのでしょうか。

**会長：**

- ・ 市が行った自己評価が妥当であるかを評価する、メタ評価を行うのがこの審議会の役割です。

**委員：**

- ・ 審議会が政策評価を見ることの意義ですが、政策評価は内部評価です。審議会は第三者の立場で政策評価が事実に基づいてされているか、過大評価になっていないかなど、政策評価が正しくできているのか、PDCAサイクルがまわるような仕組みになっているのかということを検証することです。

**委員：**

- ・ 第三者である審議会がみていくことで、一般の人が読んだときに理解できるか、わかりにくくなっていないかという点についても指摘ができると思います。

**会長：**

- ・ 総合計画は全市にわたり幅広い分野を網羅するものであるため、審議会のメンバーはそれぞれの専門分野の見地から、評価についての疑問を投げかけることで、評価が適正にされているかを確認していくことができると考えます。

**委員：**

- ・ 細かい部分の修正として「SSW」と記載されているが「SSW（スクールソーシャルワーカー）」としなければ伝わらないように思います。
- ・ また「SSW」は子どもに抱える問題に関わる専門家だと思いますが、スクールカウンセラーから、スクールソーシャルワーカーにした理由は何ですか。
- ・ また、これはどこまで想定されているのですか。南部地域だけなのか、南部地域から全市に広げていくのでしょうか。

**事務局：**

- ・ 担当課に確認します。

**委員：**

- ・ リーディングプロジェクトのシートに「SSWの活用」が書かれていることは、その背景におそらく地域的に課題を抱えている子供が多いので、重点的に配置することにより、必要な人たちと連携して課題解決につなげていく、それが成功すれば、全市的にこの取組みを進めていくということになるかと思いますが、そういった点が読み取れません。「SSW」という言葉や役割を知っている人がどれくらいいるのか、単純に取り組む内容を記入するだけでなく、背景や意図などの書きぶりを丁寧にする必要があるのではないかと思います。
- ・ また総合計画に「南部地域から“みらい”を」と書いているのであれば、南部地域を未来都市のモデル地域として、南部地域の取組みを全市に広げていくと言い切ってもいいように思います。

**委員：**

- ・ 南部地域活性化プロジェクトで先に行われている事業だと、どうしてもハコモノの事業になります。南部地域を拠点としたソフト事業も大事だと思うので、市が考えているソフト事業の部分もシートに書いていいと思います。
- ・ また、それを事務局でも把握しておく必要があります。

**委員：**

- ・ 現在設定している指標は、アウトカムの指標であり、2018年度の実施事業に対する評価が図れるものにはなっていないと思われます。例えば、「成果」のところにあるワークショップの開催回数や、「今後の方針」にある南部活性化の基本計画ができたか、資源活用の場づくり、アートイベントなどのソフト事業が指標として考えられると思います。

委員：

- ・ 指標が市民意識調査だけだと、「思う」の部分の基準があいまいだと思います。

委員：

- ・ 今後の方針に書かれている内容が次年度の指標として追加で上がってくるのでしょうか。

事務局：

- ・ 指標については、柔軟に対応できるよう変更も認めておりますので、いただいたご意見を担当課にフィードバックします。

会長：

- ・ 指標についてもご検討いただければと思います。
- ・ 最後に事務局から連絡事項をお願いします。

### 3. 案件3「その他」

事務局：

- ・ 連絡事項を1点説明します。
- ・ 次回の審議会は部会に分かれて行います。第一部会は10月3日(木)18時から、第二部会は10月4日(金)18時から、場所はともに第二庁舎3階大会議室になります。
- ・

会長：

- ・ 第1回豊中市総合計画審議会をこれで閉会します。

以上